

- 1 平成21年度第3次訓練検閲
- 2 5戦車隊 戦車競技会小隊対抗の部優勝
- 3 スポーツの秋 活躍隊員紹介
- 4 協力会音楽まつり研修



平成21年度第3次訓練検閲

～第5特科隊、第5対舟艇対戦車中隊実射検閲～



第5特科隊射撃指揮班による射撃諸元の算定

第五旅団は、平成二十一年十月十三日、矢白別演習場において平成二十一年度第三次訓練検閲(第五特科隊及び第五対舟艇対戦車中隊の実射検閲)を実施した。

本検閲は、第五特科隊及び第五対舟艇対戦車中隊の射撃の成果を評価するとともに、その進歩向上を促すことを目的とし、射撃の精度・速度、隊員の基礎動作を主要検閲項目として実施した。

検閲は、十三日早朝、第五対舟艇対戦車中隊の射撃準備から開始され、第五対舟艇対戦車中隊三課目、第五特科隊七課目の実射課目を実施し、両部隊とも精度・速度とも良好な射撃成果を得て終了した。

～第5特科隊～



砲班に指示を出す戦砲隊陸曹



155mm自走りゅう弾砲の射撃

～第5対舟艇対戦車中隊～



多目的誘導弾の発射の瞬間



光誘導ケーブルの構成

見事2連覇!**第5戦車隊、第7師団戦車射撃競技会(小隊対抗の部)で優勝**

第5戦車隊は、平成21年10月12日から16日までの間、北海道大演習場で行われた「平成21年度第7師団戦車射撃競技会」に参加した。

本競技会は第5戦車隊射撃競技会も兼ねており、10月2日の開会式において隊長は、「小隊内の連携を保持して、積極果敢な射撃を追求せよ」、「あらゆる事態にそなえよ」、「安全管理」の3点を要望し「各中隊の健闘を祈る」と訓示した。

競技会は昨年度の北部方面隊戦車射撃競技会さながらの様相を呈し、各戦車部隊の熾烈な戦いが展開され、一瞬も目が離せない白熱した射撃が続いた。

12日に第1中隊、13日に第2中隊が出場したが思うように得点が伸びなかったものの、最終日の14日に出場した第3中隊の射撃は、まさに暗雲を払うかのような見事な射撃で周囲からは大きな歓声が上がった。

結果、第3中隊第1小隊が、一昨年度に続き第7師団戦車射撃競技会「小隊対抗の部」を制し、見事2連覇を達成するとともに、第5戦車隊射撃競技会においても優勝を獲得した。



第5戦車隊の積極果敢な射撃



小隊対抗の部で優勝した第3中隊第1小隊

第5特科隊最先任上級曹長からの精勤章授与式及び最先任上級曹長顕彰

第5特科隊は精勤章授与式及び最先任上級曹長顕彰を行った。

精勤章は、隊の曹士270名中この1年間良く勤務に精励し、特に顕著な成果を収めた隊員71名に対し、特科隊長より委任を受けた隊の最先任上級曹長(伊藤准尉)が授与した。

また、引き続き行われた「最先任上級曹長顕彰」では、今年度の訓練・隊務において他隊員の模範となる功績をあげた4名の優秀隊員に対し最先任上級曹長から賞状と盾が手渡され、これまでの功労を労った。



訓示を述べる特科隊最先任上級曹長 伊藤准尉



精勤章を授与される隊員

スポーツの秋 活躍隊員紹介

～第6普通科連隊、第5偵察隊隊員が地元マラソン大会で大活躍！～

平成21年10月4日別海町で実施された第31回別海町パイロットマラソンは、出場者数1,114名で、史上初めて1,000名を超える大会となったが、この大会を成功に盛り上げるべく別海駐屯地からは通信・救護支援として11名の隊員が大会の企画・運営を支援すると共に、ランナーとして野間別海駐屯地司令以下過去最高の76名がフルマラソンに参加し、第5偵察隊平岡2尉が3年連続で町民の部第1位（記録：2時間49分57秒）になるなど、国道243号線（通称パイロット国道）を舞台に健脚を競い、本大会を盛り上げた。

また、10月11日に北見市で初めて開催された北見ハーフマラソンには、美幌駐屯地の女性自衛官3名を含む隊員90名が出場し、3部門で優勝を飾るなどその歴史のスタートに荣誉ある名を刻んだ。

北見市をはじめ道内外から約1,200名がエントリーした記念すべき第1回目の大会は、強風に雨という悪天候の中、午前10時の号砲とともにランナーが一斉にスタートした。

スタート直後から先頭に立った第6普通科連隊第3中隊の福島3曹は、その後も他を寄せ付けぬ圧倒的な速さを見せ、そのまま全体のトップでゴールを迎え、39歳以下の部で優勝した。

ハーフマラソン以外にも5kmの部に、第6普通科連隊第1中隊の中村曹長が、また、10kmの部に同4中隊の熊谷2曹がそれぞれの部のトップでゴールを迎え、それぞれの部の39歳以下の部で優勝した。



パイロットマラソン大会本部にて通信支援



フルマラソン(町民の部)3連覇達成の平岡2尉



悪天候の中、大勢が参加した北見ハーフマラソン



優勝した3名 左から熊谷2曹、福島3曹、中村曹長

東北海道自衛隊協力会

丘珠駐屯地・方面音楽まつりを研修

平成21年10月17日、東北海道自衛隊協力会12名は、丘珠駐屯地飛行場管制施設及び札幌厚生年金会館で行われた「北部方面創隊57周年記念行事音楽まつり 道民とともに～強くしなやかに～」を研修した。

研修は、17日午前7時半に帯広駐屯地を出発、丘珠駐屯地において会食を実施した後、昨年新設されたターミナルレーダーを研修した。

ターミナルレーダー研修では、丘珠空港管制の概要説明を受けるとともに、高さ約60mのレーダー施設から札幌市街を眺望した。

丘珠駐屯地研修後は、厚生年金会館に移動し、待望の音楽まつりを研修した。協力会の方々は、「全出演部隊ともバラエティに富んだ内容で素晴らしいステージでした。来年もまた来たいです。」と大きな感動を与え、自衛隊に対する理解と信頼の醸成を図ることが出来た。



丘珠駐屯地広報班長の説明を受けながらターミナルレーダープラットフォームから丘珠空港を研修



第5音楽隊が華やかなショーアップ(洋楽)を披露

航空機体験搭乗

～UH-1ヘリ上空から雄大な十勝を堪能～



第5旅団は、平成21年10月2日帯広駐屯地十勝飛行場において旅団司令部推薦者を対象に航空機(UH-1ヘリコプター)体験搭乗を行なった。

体験搭乗は、一般の方に対し航空機体験搭乗を実施して自衛隊(第5旅団)に対する理解の促進を図る事を目的に行なわれ、参加者30名は、旅団広報班長から旅団の概要説明、第5飛行隊担当者から安全教育を受けた後、5フライトに分かれ空の旅を楽しんだ。

当日は天候に恵まれ、絶好のフライト日和となり、峻厳な日高・大雪山系と雄大な十勝平野を満喫して駐屯地を後にした。



搭乗前に全員で記念撮影